



## 和歌山県、「自殺対策」がいっそう急務に

2000年前後に自ら命を絶つ方の数が全国で3万人を超えたことなどを契機に、全国的に自殺予防への取り組みが進み、今ではもっとも多かった頃に比べるとその数はおよそ2/3に減少しました。

和歌山県内についても年間300名以上となっていた自殺者数は減少の傾向をみせていますが、ここ数年は増減もあったことから、2018年の自殺者は197人、人口10万人あたりの自殺者数を示す自殺率は21.2と全国で最も高くなりました。和歌山県内の自殺防止に関する取り組みを探りました。

### 「和歌山県自殺対策計画」に掲げられている施策と取組

#### 1. 市町村等関係機関への支援の強化

- (1) 自殺対策計画の策定に関する支援
- (2) 市町村などが行う自殺対策に対する支援

#### 2. 地域におけるネットワークの強化

- (1) 地域における連携・ネットワークの強化
- (2) 民間団体との連携強化

#### 3. 自殺対策を支える人材の養成及び確保

- (1) かかりつけ医師等の自殺リスク評価及び対応技術の向上
- (2) 精神保健医療福祉従事者の資質向上
- (3) 教職員の資質向上
- (4) 地域で自殺対策を支える人材の養成
- (5) ゲートキーパーをはじめとする人材の養成
- (6) 支援者等への支援

#### 4. 自殺予防のための啓発や教育の充実

- (1) 自殺に関する正しい知識の普及と啓発
- (2) うつ病等の精神疾患についての普及と啓発
- (3) 児童生徒の自殺対策に資する教育の実施
- (4) SOSの出し方に関する教育の推進
- (5) インターネット等の活用

#### 5. 職場環境の整備・充実

- (1) 長時間労働の是正等、働き方の見直しに向けた取組の推進
- (2) ハラスメント防止
- (3) 職場におけるメンタルヘルスの推進

#### 6. 精神保健医療サービスの体制の整備

- (1) 精神科医療、保健、福祉等の各施策のつながりの推進
- (2) 精神科医療体制の充実
- (3) 子供に対する精神保健医療福祉サービスの提供体制の整備
- (4) 自殺のリスクを高めるアルコールなどの依存症の対策
- (5) 大規模災害における被災者等のこころのケア

#### 7. 相談体制の充実

- (1) こころの健康などに関する相談
- (2) 人権に関する相談
- (3) 子供や若者に関する相談
- (4) 男女共同参画に関する相談
- (5) 犯罪被害者等に対する相談
- (6) 多重債務等に関する相談
- (7) 経営者に対する相談
- (8) 相談窓口情報の分かりやすい提供

#### 8. 自殺リスクの高い要因への取組

- (1) 子供を貧困や虐待から守る施策の実施
- (2) ひとり親家庭への支援
- (3) 妊産婦への支援
- (4) ひきこもり当事者等への支援
- (5) 困難を有する女性への支援
- (6) 性的マイノリティへの支援
- (7) 高齢者が活躍できる場の充実と介護者への支援
- (8) がん患者、難病患者等への支援
- (9) 失業者等への支援
- (10) 生活困窮者への支援
- (11) 自殺の危険から守るための取組
- (12) インターネット上の自殺情報対策の推進
- (13) 自殺未遂者の再度の自殺企図の防止
- (14) 遺された人の支援の充実

**全国的動向**  
厚生労働省の人口動態統計によると、全国の自殺者数は2003年の32109人(※)をピークに徐々に減少

若年層の自殺をどう予防するかが非常に大きな課題となっている。

死因を大きく引き離して1位となっており、若年層の自殺をどう予防するかが非常に大きな課題となっている。

和歌山県も減少しているものの、和歌山県内の自殺者数は01年の317人をピークに減少傾向が続きました。14年には168人とほぼ半減しました。

若年層で深刻な状況  
6月7日に発表された厚生労働省の人口動態統計によると、昨年1年間に日本国内で亡くなった方の数は136万人あまり。そのうち、自殺が原因で亡くなった方の総数は2万人あまりと全体の1.5%、全年齢の死因の順位では10位となっています。しかし10代前半と40代では自殺が死因の2位、10代後半から30代にかけては他の死因を大きく引き離して1位となっており、若年層の自殺をどう予防するかが非常に大きな課題となっている。

和歌山県も減少しているものの、和歌山県内の自殺者数は01年の317人をピークに減少傾向が続きました。14年には168人とほぼ半減しました。これはピーク時の約97%となり、昨年(19)は約62%と全国並の減少となっているものの、人口10万人あたりの自殺

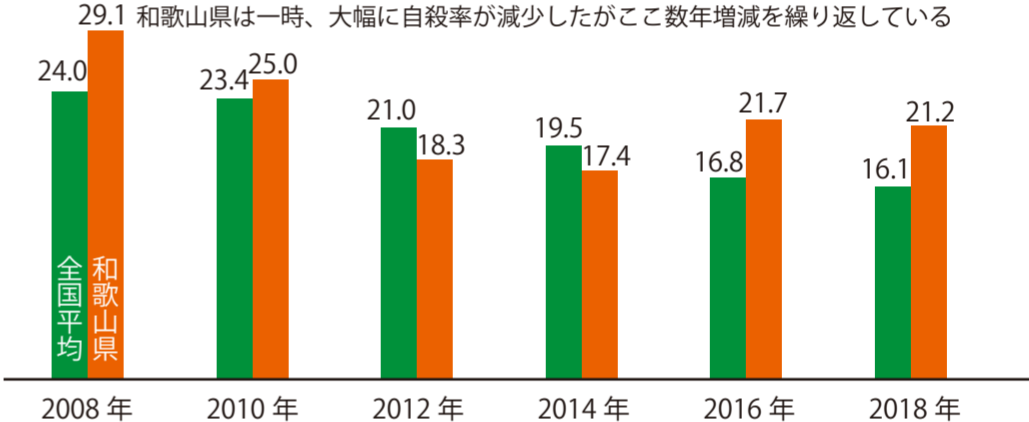
自殺をめぐっては偏見や誤解が多いといわれています。正しい理解がなにより大切です。

自殺は様々な悩みが原因で心理的に追い込まれた末に発生するケースが多く、多くの場合、自殺直前に精神疾患を発症していることがわかっています。精神保健領域の施策の充実が叫ばれています。

自殺は様々な悩みが原因で心理的に追い込まれた末に発生するケースが多く、多くの場合、自殺直前に精神疾患を発症していることがわかっています。精神保健領域の施策の充実が叫ばれています。

自殺は様々な悩みが原因で心理的に追い込まれた末に発生するケースが多く、多くの場合、自殺直前に精神疾患を発症していることがわかっています。精神保健領域の施策の充実が叫ばれています。

人口10万人あたり自殺で亡くなった方の人数(人口動態統計)



自殺をめぐっては偏見や誤解が多いといわれています。正しい理解がなにより大切です。

自殺は様々な悩みが原因で心理的に追い込まれた末に発生するケースが多く、多くの場合、自殺直前に精神疾患を発症していることがわかっています。精神保健領域の施策の充実が叫ばれています。

自殺は様々な悩みが原因で心理的に追い込まれた末に発生するケースが多く、多くの場合、自殺直前に精神疾患を発症していることがわかっています。精神保健領域の施策の充実が叫ばれています。

自殺は様々な悩みが原因で心理的に追い込まれた末に発生するケースが多く、多くの場合、自殺直前に精神疾患を発症していることがわかっています。精神保健領域の施策の充実が叫ばれています。

自殺は様々な悩みが原因で心理的に追い込まれた末に発生するケースが多く、多くの場合、自殺直前に精神疾患を発症していることがわかっています。精神保健領域の施策の充実が叫ばれています。

### みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

**●ギターコンサート YaSuRaGi**  
あなたの心に安らぎを。美しいギターの音色による讃美歌をお届けします。  
日時 7月14日(日) 11:00～12:30  
場所 和歌山シオン教会  
ゲスト 谷口卓嗣さん(ソログタリスト)  
参加費 無料(任意のご寄附をお願いします)  
主催・問い合わせ 和歌山シオン教会(和歌山市鳴神・073-473-0424)

**●ポポロハスマーケット**  
今回のテーマは「辛」。辛いものの好きはお見逃しなく!  
日時 7月14日(日) 11:00～16:00  
場所 ぶらくり丁・中ぶらくり丁商店街  
主催・問い合わせ ポポロハスマーケット実行委員会事務局(073-425-8583・紀州まちづくり会内)

**●まちなか百姓養成塾**  
有機栽培による野菜づくりを学びます。  
日時 7月17日(水) 18:30～20:00  
場所 和歌山市地域フロンティアセンター(フォルテワジマ6階)  
参加費 500円  
定員 20名  
主催・問い合わせ わかやまイネ!プロジェクトまちなか百姓養成塾チーム(info@wakayamaiine.com)  
備考 今後も奇数月の第3木曜日に開催。

**●第41回和歌山YMCAカーニバル**  
青少年育成ボランティアの活動支援・地域活動支援・地域の方々との交流を目的としたイベントです。

このほかの情報もたくさん掲載!  
「わかやまイベントボード」  
URL <http://eventboard.shiminjuku.jp/>



■自死遺族の方や生きることが辛いと悩んでいる方からの相談(TEL・来所)に対応。来所相談は原則予約制。  
和歌山県自殺対策推進センター相談専用電話「はあとライン」**073-424-1700**(24時間、365日対応)

■孤独を感じている方、弱音をはける場所がない方、気持ちが落ち込んでいる方など「こころの痛み」を話せる電話相談。  
和歌山いのちの電話協会電話相談 **073-424-5000**(10時～20時、365日対応)

■自死遺族の方のための相談、そのような方が安心して気持ちを分かち合える会も原則毎月1回実施中。  
開催日の問い合わせ・予約は 和歌山県精神保健福祉センター **073-435-5194**(平日9:00～17:45)まで